

学校通信



# 西小だより

桐生市立西小学校  
令和6年度  
NO.10  
令和6年11月14日

## 6年生が国会・八景島・鎌倉に行ってきました 修学旅行



6年生が11月6日（水）～7日（木）楽しみにしていた修学旅行に一泊二日で、元気に行ってきました。一日目の国会議事堂見学では、地元選出の国会議員さんに迎えられた子どもたちからは、「わ～。本物だ!」「ポスターの人だ!」「有名人に会えた!」などの声に議員さんも思わず苦笑い。その後、議員さんから国会の仕事や議事堂についての説明を受け、議場を見学しました。

昼食からは、八景島です。たくさんのアトラクションやお買い物を楽しむ様子が見られました。



二日目は班別に鎌倉散策しました。スタートは高德院鎌倉大仏です。1252年に武家政権と民衆の安寧を願って造立が始められたとされる鎌倉大仏を間近に見た子どもたちからは、その大きさ思わず息をのみ、ガイドさんの説明に真剣に耳を傾けていました。このあと6年生が作成する修学旅行新聞が今から楽しみです。



## 実りの秋・収穫の秋

### 5年生 稲刈り体験

10月16日（水）5年生が、稲刈りしました。子どもたちは全員で協力し、収穫の喜びを実感してくれたと思います。6月の田植えから5ヶ月間、田んぼの管理をしていただきました皆様、当日のボランティアに協力いただきました保護者の方々にあらためて感謝申し上げます。学校では、子どもたちには今まで以上に「食」に興味・関心を示し「食のありがたさ」や「大切さ」、「残さずいただく」気持ちにつながるようになればと考えています。皆様ありがとうございました。



### 2年生 サツマイモ掘り



10月17日（木）2年生が愛情たっぷりに育ててくれたサツマイモをみんなで収穫しました。今年の夏は記録的な猛暑で、サツマイモの生育が心配されましたが、大きなサツマイモをたくさん収穫することができて、子どもたちは皆大喜びでした。

# 西小の取組紹介⑤

がんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！

## 大きな舞台で力試し！西小から3選手が県陸上記録会へ



10月28日(月)時折、小雨が降り、やや肌寒い日でしたが、県立敷島公園陸上競技場で第51回群馬県小学校陸上競技会が開催され、本校から共通男子50mH、女子ソフトボール投げ、5年女子100mに3名の児童が出場を果たしました。3名とも練習の成果を発揮してくれたと思います。大きな舞台に立てたことがこれからの自信になるとと思います。

## ランランタイム始まりました！

朝晩は少しひんやりするようになりました。この時期から西小はランランタイムが始まります。11月下旬の持久走大会まで、20分休みを中心にみんなで楽しくランニングです。西小の素敵なのは、単に速く走ることをだけを目指してはではなく、「みんなで楽しく！」「それぞれのペースで体力の向上！」で健康増進を目指しているところです。もちろん、先生たちも子どもたちと一緒にがんばっています。



## 教育実習奮闘記



教育実習とは、教育職員免許状の授与を受けるために修得する必要がある単位で、各学校で行われる実習のことで、その期間は校種によって異なりますが、小学校では4週間が一般的です。



○星野先生：実習を行わせていただく前は、教員になることに不安もありましたが、今回の実習を経て教員になりたいという気持ちが高まりました。先生方には、児童との接し方、教員としての立ち振る舞い、よい授業をするために必要なことなど学ばせていただきました。突然教室に来た私を「先生！」と呼んでくれた児童の皆さん、緊張して不安な気持ちでいっぱいだった私を励まし、教員としての大切なことを教えてくださった西小の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

貴重で素敵な体験ができたのは、西小学校の皆様のおかげです。1ヶ月という短い間でしたが本当にありがとうございました。

○森田先生：不安でいっぱいの私を「先生！先生！」と温かく迎えてくださった児童の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。1ヶ月間皆さんと一緒に過ごす中で、たくさんのお話を学ばせていただきました。教員としての大切な資質や能力、児童の皆さんとの向き合い方、授業において大切にすべきことなど、たくさん学びや発見がありました。その時、その時で違う表情を見せてくれ、毎日ワクワクさせてくれる西小の児童のみなさん、子どもたちへの熱い想いをもって優しく向き合うパワフルな先生方のおかげで、教員という職業はすごく魅力あふれる職業だと強く感じるようになりました。あつという間の1ヶ月間、教員になるための第一歩の実習が西小学校で幸せです。

学んだことを活かして、教員を目指したいと思います。本当にありがとうございました。



## 校長室から

10月25日(金)に本校で受け入れた大学3年生2名が4週間の教育実習の期間を終了し、大学へ戻りました。「先生を目指す人が少なくなっている？」とか「学校はブラックな職場の代名詞？」などと耳にすることもありますが、彼ら(先生の卵たち)を見ていると「人の成長に関わるやりがいのある仕事！」であると再認識することができました。昨今、学校には「キャリア教育」の推進・充実が求められています。キャリア教育とは、狭義の「職業教育」ではなく、子どもたちが自らの将来を見据え、どうありたいかを考え、自らの人生を自らが切り拓こうとする力を育むための教育です。私は、今も昔も子どもたちにとって一番身近な職業は「学校の先生」であると思っています。「先生」は、常に大人の鑑として、子どもたちの成長を全力で支援します。時には壁になり、それを乗り越えさせることで子どもたちの成長を促す存在でもあります。その過程では、先生も一人の人間として悩み、苦しさやつらさをたくさん感じます。しかし、成長した子どもの姿を見たときに、それまでの苦労は吹っ飛び、達成感・充足感を感じることができる素敵なお仕事だと思っています。そんな西小の先生たちへ、これからも応援よろしくをお願いします。

